

# KUMAMOTO YMCA NEWS

THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION

## February 2015 vol.513

# 2



白銀の世界にワクワク! 日帰りスキーキャンプ①

**C O N T E N T S**

- ① YMCA学院の人材教育
- ② ウィンターキャンプ報告/災害被災児招待「あそぼうキャンプ」
- ③ YMCA学院海外研修/YMCA学院日本語科お正月体験 Youth Act Vol.11 クリスマスキャンプユースリーダー 深水聖さん  
REPORT YMCA学院高等学校サンタプロジェクト/高等学校・PHD協会交流会  
タラント No.11 「食べて元気に」  
Topics 東部YMCA/水前寺幼稚園/ながみねファミリー-YMCA
- ④ 中面 Y Kids ニュース 英語で楽しい未来をつくる

### わたしと聖句

フィリピの信徒への手紙3章13〜14節  
兄弟たち、わたし自身は既に捕えたと  
は思っています。なすべきことはた  
だ一つ、後ろのものを忘れ、前のもの  
に全身を向けつつ、神がキリスト・イ  
エスによって上へ召して、お与えにな  
る賞を得るために、目標を目指してひ  
たすら走ることです。

### 我未だ完成せず

十年近く前ですが、福知山線で兵庫

県の但馬に向かう車内で読んだ新聞  
に初代仮面ライダーの俳優の藤岡  
弘さんの記事が目につきました。不  
思議なことにも名前の後に、「句読点  
(、)が付いているのが、正式な芸名だ  
というのです。藤岡さんの言い分によ  
ると、「いまだ未熟者で、修練を積む必  
要がある。安住することなく、多くの  
人や書物から謙虚に学ぶ、我未だ完  
成せず」という思いを表すために付け  
ているのだそうです。

「わたし自身は既に捕えたとと思っ  
ていませんと、フィリピの信徒への  
手紙の記者は言います。ここが信仰者  
の信仰姿勢で大切な点です。人生全般  
でも同様でしょう。  
どのように成熟した人でもゴール  
の途中です。ピリオドではなく、常に  
謙虚に「後ろのものを忘れ」走りたい  
ものです。つまり、失敗も成功も、敗北  
も勝利も、それにもとらわれないで、  
「我未だ完成せず」と「区読点」を付け  
て、「目標を目指して走る」者でありた  
いです。  
日本アッセンブリーズオブ・ゴッド教団熊本聖書教会  
長澤 忠雄

## 若者の夢や希望を 応援する専門学校として 社会が必要としている 人材の育成に向けて

YMCA学院は、現在、社会福祉、商業実務、工業、文化教養の4つの課程で、日本語科を含め10学科で人材育成を行っています。専門学校では社会へ巣立っていく準備として、専門性を身に付けることは



写真右から  
上村眞智子さん 熊本YMCA専門学校運営委員会委員長、非常勤講師。キャリア教育・社会人教育を行う(有)オフィスUEMURA代表。  
本田仁美さん 熊本YMCA学院建築科1977年卒業。設計・建築事務所「PLANNING・エラ」代表。  
島村明日香さん 熊本YMCA学院診療情報管理士専攻科2011年卒業。済生会熊本病院医療秘書室勤務。  
光永尚生さん 熊本YMCA副総主事、熊本YMCA学院副学院長

もちろん、その専門性を活用するために、様々な経験を重ねることも重要です。YMCA学院は学生たちがYMCA独自の活動に触れる機会をつくることで、多様性を持つ未来のリーダーを育成することを目指しています。今回は、YMCA学院の卒業生で、現在は学生の保護者でもある本田仁美さん、卒業生の島村明日香さん、非常勤講師の上村眞智子さんと副学院長の光永尚生さんに、社会が求める人材とYMCA学院の取組みについて語っていただきました。



**光永** Y M C A 学院は、人材教育の3つの柱として「人間教育」「専門教育」「キャリア教育」を目標に掲げています。最も力を入れているのは授業で

ですが、並行して団体や企業での実習、海外研修、ボランティア活動などを通して行う「人間教育」は重要視しています。学校全体にはYMCAの精神が流れており、様々なアプローチで人材育成に取り組んでいます。私たちが行っている教育のスタイルについてのどのように感じられますか。

**本田** 私は建築科を30年以上前に卒業し、現在は息子が同じく建築科に在籍しています。その様子を見てみると、私の時代の授業内容とは大きな違いを感じます。同じ仕事に携わる者だから分かりますが、息子は企業での実習などを経て、より実践的な学びを得られていると思います。「自ら考えて臨機応変に対

応する」という力を、様々な経験を通して身に付けさせていただいています。



**上村** 時代の変化に則して力  
リキラムが進化し、時代の  
ニーズを身に付けられること  
は素晴らしいですね。現在、Y  
MCA学院では企業や施設な  
どでの実習を数回行っていま

習ったことの意味が分かる時、2回目は就職を意識した上で実習に臨むことができます。この時に現場で認められて就職に結びつくケースもあります。



**島村** YMCAはボランティア  
A活動が盛んです。私が入学  
を決めた理由は、診療情報管  
理士認定試験合格を目指す  
「診療情報管理士専攻科」が

あったのももちろんですが、YMCAなら人の役に立つことができるのではないかと考えたからです。発達障がい児の支援を行う「リバティールフィンズクラス」でのユースリーダー活動を通して、

純粋に相手と向き合うことの大切さを学びました。  
**光永** Y M C A 学院は、社会の担い手を



リバティールフィンズクラスで子どもたちの学習支援をしていた島村さん

数多く輩出してきたと自負しています。様々な企業実習やボランティア体験は特に大切だと考えています。東日本大震災や九州北部豪雨災害の支援活動にも学生を多く派遣しました。このような経験は多様な価値観のある現代社会に必要な人材の育成へと結びついていきます。



**本田** 学院の思い出として  
残っているのは、授業で二の丸公園を測量したことです。建築科は当時、新町の中央校舎にあり、素晴らしい口ケ

シヨンの中で伸び伸びと毎日を送りました。今でも毎週会う友人もいます。加えて、卒業生の多さに驚きます。たまたま出会った人がYMCAの卒業生で、仕事につながることもあります。

**島村** 印象的だったのは、海外研修でシンガポールに行き、現地YMCAの学生と交流したことです。言葉では伝えられなくても気持ちで交流できたことは社会に出た今も大きな財産となっています。また、西日本地区のYMCAのユースリーダーが集う研修会に参加した時は同世代の様々な経験をした人々の考えに触れて自分の成長につながりました。

**上村** 身近な部分でも、国際的な部分でも、体験を積み重ねることができる。YMCAには不思議な魅力があります。  
**光永** 熊本で最初にできた建築科は2000名ほど、全体では約9000名の卒業生がいます。今後は

縦のつながりが生まれる機会を設けることも課題です。また、世界119の国と地域にあるYMCAとのネットワークは、もっと活かす必要があるでしょう。YMCAでは他では得られにくい独自の学びを得られます。これらは学院の卓越性の一つとなっているでしょう。

**本田** 息子はヨーロッパでの海外研修中に多くの学びがあったようで、「帰りがたくなかった」と言っていました。世界のYMCAとの間で、長期の交換留学のシステムなどがあるといいですね。一つの物事を立体的に考えられる期間があると、考え方やモチベーションが変わることもあると思います。

**島村** 就職活動をしている時、ユースリーダー活動の中で他の人の意見を聞くことの重要性を学べたことが自分自身の成長につながっていたのだと実感しました。また、現在は病院に勤務していますが、YMCA学院できちんと医療に関する基礎を学ぶことができたのは強みですし、加えてボランティア活動など様々な体験をしたことで、臨機応変に対応する力が身についたと思います。

**上村** YMCAの活動を支える「ワイズメンズクラブ」との協働も考えられますね。幅広い年代の人が集うYMCAならではの教育となるでしょう。地域でのボランティア体験などを通して、『生きる』とは何かを考える



よう促していくことは、教育者側の大きな使命であると考えます。ここにYMCAの卓越性を示すことができると思います。

**光永** これから進学や就職を控える人たちに伝えたいメッセージはありますか。また、YMCAに期待することは何でしょうか。

**本田** 学生時代には、多くの人と出会ってほしいと思います。学生時代の友人は生涯にわたる宝物になるでしょう。そして、人の痛みが分かる人になってもらいたいです。YMCAには、世代を超えて様々な人が集う『街に溶け込むYMCA』であってほしいですね。

**上村** 学生の皆さんには、様々な人と話し合える力を身に付けてほしいと思います。経験を積み重ねた先輩方と接することも大事です。また、言葉を大切にして自分の気持ちを美しい日本語で表現できる、豊かな人間性、感性を育んでもらいたいと思います。

**島村** 社会人になると、新たな一歩を踏み出すために大変な勇気が必要になります。学生の間に、ぜひいろいろなことと挑戦してほしいと思います。そして、私にとってYMCAは『アットホーム』。社会に出ても、何かあれば先生方が相談に乗ってください。これからも、いつでも帰ることができる温かな場所であってほしいです。

**光永** 今後も様々なカリキュラムを通して、社会が必要としている人材を育成できるYMCA学院でありたいと思います。ありがとうございます。

※ワイズメンズクラブは、YMCAの活動を支援することを第一の目的として、地域・国際社会に奉仕するボランティア団体で、熊本では現在10クラブが活動しています。

## 冬こそ元気に！ ウィンターキャンプ報告

熊本YMCAでは、毎年12月から2月にかけてウィンターキャンプを実施しています。今年は10種類14回キャンプを企画。多くの子どもたちがスキーや雪遊びなど、冬ならではの活動を楽しんでいます。



### 冬のわくわく探検隊

**日程** 日帰り4日間  
2014年12月26日(金)  
～29日(月)

**場所** 熊本県内各所  
自然体験を行い、いっぱい遊びました。和紙作りや陶芸、餅つきなど文化体験もできました。



### クリスマスキャンプ

**日程** 2泊3日  
2014年12月26日(金)  
～28日(日)

**場所** 阿蘇YMCA  
みんなでクリスマスツリー飾りやケーキ作りで大盛り上がり。阿蘇の大自然を満喫しました。



### 五ヶ瀬2泊スキーキャンプ

**日程** 2泊3日  
2015年1月4日(日)  
～6日(火)

**場所** 五ヶ瀬ハイランドスキー場  
スキーレッスンに雪遊びと、五ヶ瀬の雪山で3日間いっぱい楽しみました。



### ゆきっこキャンプ

**日程** 2泊3日  
2015年1月10日(土)  
～12日(月・祝)

**場所** 阿蘇YMCA  
そり遊び、雪だるま作り、みんなの気持ちが一つとなったかまくら作り。心も身体もホカホカになりました。



## 災害被災児招待キャンプ 第3回あそぼうキャンプを開催

第3回あそぼうキャンプを12月12日(金)～14日(日)、阿蘇YMCAで開催しました。今年も精神科医の仁木啓介さんがアドバイザーとして3日間参加され、日本EMDR学会から医師3名、臨床心理士2名を派遣していただきました。大型台風や広島市での集中豪雨災害等により8月に実施できなかったため、12月の冬のキャンプとして開催。広島YMCAのスタッフ、リーダーも一緒に参加することができました。

大自然の中で、子どもたちは白い息を吐き、皆と協力し合い山に登り、走り回り、自然を満喫しました。また、雪の結晶を見つめながら、乗馬を楽しみ、自然と無心に遊びました。災害時には恐ろしい濁流となっていた川の流れが、今度は、子どもたちを優しく癒してくれる存在となりました。

YMCAのキャンプでは、一人ひとりがかけがえない存在として周囲の人たちに認められます。この経験によってちょっとした失敗でくじけない大人に成長していくと考えています。人と自然との交わりが子どもたち人間性や感性に磨きをかけることを実感できたキャンプでした。

本部事務局 久保誠治



精神・知性・身体のバランスのとれた成長を願って



▲ 鳴海真鈴さん(写真左) 中学2年生  
みなみYMCAこどもえいごスクール所属

## English Camp for Global Leadership

2014年12月26日(金)～29日(月)、2014年度中高生英語キャンプ「English Camp for Global Leadership (ECGL)」がYMCA国際青少年センター東山荘(静岡県御殿場市)で開催されました。このキャンプは全国のYMCAから集まった中学生・高校生の皆さんが、グローバルな課題について英語で聞き、話し、仲間と共に考える楽しさを学ぶ英語漬けの3泊4日プログラムです。今回、熊本YMCAから参加した鳴海真鈴さんに質問に答えていただきました。

**Q1** What do you study at YMCA English school?

**A1** I study how to talk and express my feeling in English at YMCA. Sometimes grammar, too.

**Q3** What were your impressions of ECGL?

**A3** I enjoyed it and learned a lot. I studied many things, for example grammar and pronunciation. I want to join ECGL next year again. I want to learn more.

**Q1** 今、YMCAえいごスクールでどのようなことを中心に学んでいますか？

**A1** 会話文を中心に様々な言葉を学んでいます。たまに文法や学校の復習をします。

**Q3** ECGLに参加した感想を教えてください。

**A3** とても楽しく学べました。文法や発音などわからないものをたくさん学びました。また来年も行きたいですね。もっと学びたいです。

**Q2** What were the most fun and fulfilled experiences through studying English?

**A2** I did a presentation with my new friends. I made a good speech. It was fun!

**Q4** What is your dream in the future by speaking English?

**A4** I want to be an actor in Japan. I want to speak English much better to make my dreams come true.

**Q2** 英語を学んで楽しかったこと、嬉しかったことを教えてください。

**A2** 楽しかったことは、グループのみんなとプレゼンをしたこと。そして嬉しかったことは、スピーチに成功したことです。

**Q4** 将来、英語を活かしてどのようなことをしたいですか？

**A4** 将来は日本で女優などの仕事につきたいと思っています。大きくなって、海外で働くときに困らないように頑張って、将来の夢に活かしていきたいです。



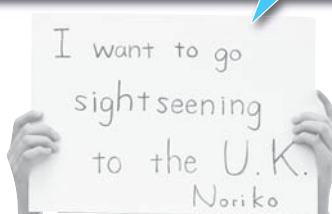
本体からはずして、折ってから読んでください。

## 世界がYOUを待っている

世界で最も多くの国・地域で使用されている英語。YMCAは、子どもたちが実用的な英語力、多様性を受け入れるやさしさ、世界の人々と共生できる広いこころを持つことを願っています。英語を学んで世界のみならずと友だちになろう！

# 英語で楽しい未来をつくらう

こどもえいごスクールのみならず英語を学んで何をしたい？



西中村 隆世さん  
小学6年生 在籍5年目  
科学者になりたいです。

大森 一輝さん  
小学2年生 在籍1年目  
アメリカに行って、友だちをつくりたいです。

湯上 七海さん  
小学4年生 在籍4年目  
外国の人たちと英語で話したい。

矢野 祝子さん  
中学2年生 在籍9年目  
イギリスに観光に行きたいです。

### こどもえいごスクールのお問合せ

- 中央YMCA (熊本市中央区新町) TEL:096-353-6391
- みなみYMCA (熊本市南区田迎) TEL:096-378-9370
- ながみねファミリーYMCA (熊本市東区長嶺南) TEL:096-385-0676
- むさしYMCA (合志市幾久富) TEL:096-248-6334

# でっかい世界を見てみよう。



## ブレント・モーズリーさん カナダ

**日本に来て何年目?** 13年目 **日本の好きなお店** 北海道はカナダそっくり。京都、沖縄、四国もそれぞれの良さがありますね。 **好きな日本食** 寿司とさしみ。でもこれはカナダでも食べられる。冬にぴったりなのはお好み焼き！  
**出身国のおすすめ料理** プーティン：鳥ベースのグレイビーソースとチーズをフライドポテトにかけた料理。 **出身国はどんな国?** 広大な国土に対して少ない人口の国。大都市は近代的ですが、少し都市を離れると息をのむ自然の美しさ。威厳のある北極圏、広大な森林、樹木が全くない広大な草原があります。想像できますか？様々な文化を持つ人々がともに暮らしています。場所によってはドイツ語やパンジャブ語が日常的に話されている地域もあるんですよ。



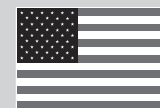
## アンナ・クリナエワさん ウズベキスタン

**日本に来て何年目?** 4年目 **日本の好きなお店** 日本の伝統文化が好きです。「おもてなし」は世界一だと思います。 **好きな日本食** 米、寿司、さしみ、鍋、焼き肉。  
**出身国のおすすめ料理** プロブ：見た目は日本のチャーハンに似ているけど味は違います。羊か豚の肉、野菜と、香辛料、ご飯が材料です。ウズベキスタンの伝統料理です。 **出身国はどんな国?** 昔、ウズベキスタンはヨーロッパとアジアを結ぶシルクロードの「橋」でした。今でも様々なルーツを持つ人たちが一緒に暮らしていて、アジアやヨーロッパのどの国とも違っています。山、川、湖、渓谷や滝など美しい自然が今も残されている中央アジアの国です。親切な人が多いのがウズベキスタン人の特徴です。あなたもぜひウズベキスタンへ！



## 加瀬マリアさん フィリピン

**日本に来て何年目?** 23年目 **日本の好きなお店** 熊本が好き！今では他の場所に住むことは考えられません。日本人の団結力はすごい！  
**好きな日本食** 寿司、さしみ、焼き肉が好き。 **出身国のおすすめ料理** アドボ：醤油と酢をベースにした鳥アドボと豚アドボ。ごはんと一緒に食べます。  
**出身国はどんな国?** 107の島と多言語からなる国。とにかくみんなフレンドリーですぐに友だちになれますよ。旅行者でも温かく家族のようにもてなしてくれるのがフィリピン人。最近は語学留学先として注目されています。自然は、特に美しいビーチがおすすめ。食べ物も安く美味しいものから、高級食材を使った料理までバラエティ豊かです。どんな人にも楽しんでもらえる国です。



## マシュー・ホファーさん アメリカ

**日本に来て何年目?** 8年目 **日本の好きなお店** 公共スペースがどこも清潔ですね。一番好きな場所は新幹線の中。風景を眺めながらの旅は最高！  
**好きな日本食** 鍋とすき焼き。特に白ネギがたくさん入ったもの。  
**出身国のおすすめ料理** チーズとベーコン：パーモントチェダー（チーズ）とベーコンを使って、ラセットポテトという品種のじゃがいもで料理すると最高！  
**出身国はどんな国?** 皆さんが考えるほど危険な国ではありませんよ。一言で言うと「多様性の国」。民族、文化、料理、自然どれをとっても「多様」。ロッキー山脈、アパラチア山脈、グランドキャニオンは皆さんも知っていますね？アラスカのような極寒の地から、アリゾナやテキサスのように暑いところまでいろいろ。必ず皆さんが好きになる場所がありますよ。



## 世界の人々と、ともに生きていくために

### YMCAこどもえいごスクールの願い

多文化共生社会の実現に向けて平和をつくり出す活動をミッションとしているYMCAでは、語学教育を通して多様性を受け入れ、ボーダレス社会で役立つ実用的な語学力とコミュニケーション能力を身に付けた地球市民の育成に取り組んでいます。

### キャラクター・ディベロップメント

YMCAは人格の向上に大切な以下の価値に注目し、レッスンやYMCAの活動を通して子どもたちに伝えていきます。

- 思いやりの心 (Caring) 正直になる (Honesty)
- できることは自分でする (Responsibility)
- 人を大切に思う (Respect)

## 体験レッスン WEB先行 受付中

3月1日正午まで  
対象：年少児～小学4年生



# YMCA学院海外研修

今年度も12月に老人ケア科、建築科、生涯スポーツ科、国際ホテル科の4学科がそれぞれ海外研修を行い、学生たちが異なる文化の中で学びを深めました。



**老人ケア科 アメリカ西海岸**  
 期間 12月7日(日)～15日(月)  
 食事・習慣・考え方の違いを実感。研修先での交流やボランティア体験から「支援」について考える機会を持ち、刺激いっぱい9日間でした。



**建築科 スペイン・フランス**  
 期間 12月13日(土)～20日(土)  
 中世から現代までの建築物を見学しました。また日本とは異なる様々な文化も体験。毎日が驚きと感動の連続でした。

**生涯スポーツ科 ハワイホノルル**  
 期間 12月11日(木)～17日(水)  
 ホノルルマラソンでは、参加できない学生のゼッケンを裏側に重ね、16名全員が完走。1年間に及ぶトレーニングの成果が実を結びました。



**国際ホテル科 ハワイホノルル**  
 期間 12月17日(水)～22日(月)  
 現地のリゾートホテルを体感し、パールハーバーでは戦争の悲惨さ、セントラルYMCAではネットワーク力を学びました。



## 留学生が日本のお正月を体験

YMCA学院日本語科に通う留学生に、日本の伝統的な文化に触れてもらうため、毎年、建築科の学生と実施している年頭行事を1月6日(火)にYMCA学院東部校舎で行いました。今年の目玉は、『新春寄席』。少し難しいかもしれませんが、落語に興味津々。オチでは、しっかり笑いも起こっていました。

その後は、「もちつき」「かるた」「書初め」を体験。危なっかしい手つきで初めて杵を持った女子学生がついたお餅は、とっても美味しなお雑煮となり、かるたで



東部YMCA 山本昌子

は、大接戦が繰り広げられました。また、書初めでは、真剣な眼差しで一文字の書に取り組み姿が見られました。

参加したネパールから来たサブコタ・パドリさんは、「筆で書くのは、難しかったけど、面白かった。今年は、友だちをたくさんつくりたい」と、学友の文字を書き、ミャンマーのヌーヌーさんは、「初めての体験で、とっても面白かった」と感想を話してくれました。

## 子どもへの接し方を学んだ3日間

「ボランティアをすると大学の授業で単位を取得できるから」という単純なきっかけで、初めてYMCAのキャンプにユースリーダーとして参加しました。夏のキャンプに参加した友人たちから「YMCAがいい」と強く勧められたのですが、ボランティアもキャンプもとくに興味が強かったわけではなかったため、とても軽い気持ちでした。でも、参加してガラリと考え方が変わりました！

## YOUTH ACT

Vol.11 YMCAで活躍しているユース紹介

### ●クリスマスキャンプに参加



深水聖さん(写真左)  
 九州ルーテル学院大学 人文学部人文学科  
 2年/YMCAユースリーダー

キャンプ中に主に関わったのは年長から小学1年生の男の子たち。日頃子どもに接する機会がないので、最初は大変でした。怒っているのかも分からず、最初は「大丈夫」と教わり、危ないことは注意したり、できたことは褒めたりと、自分の感情を伝える大切さも分かりました。一番感動したのは、2泊3日の間の子どもたちの成長です。最後には自ら考えて行動できるようになり、協力して一つのことをやり遂げる姿をみた時はとても嬉しくなりました。

以前は保育士を夢見ていたこともあり、子どもは大好き。現在、大学で英語を専攻しているので、将来は英語を通して子どもに触れたいとも考えています。ですから、子どもたちへの接し方を実践的に学ぶことができるYMCAでの体験は貴重です。他のキャンプにも参加したいですし、今後はボランティア活動にももっと関わりたいと考えています。

# REPORT

## 子どもたちに夢をプレゼント

■日時/12月24日(水)17時～20時半  
 YMCA学院高等学校の生徒がボランティア体験の一環として、中央YMCA体育英語幼児園の子どもたちにクリスマスイブの夜に夢を届ける出張サンタを行いました。



20名の子どもの家を一軒一軒訪問。突然現れたサンタクローズには、大はしゃぎする子、カチコチに固まってしまったり、子どもたちにとっても、高校生たちにとっても思い出に残る素敵なクリスマスイブとなりました。

高等学校 福山裕敏

## 海外研修生と交流

■日時/1月15日(木)10時半～11時45分  
 ■場所/中央YMCA  
 多文化共生理解推進プログラムとしてYMCA学院高等学校の生徒13名とPHD協会の海外研修生3名との交流会を開催しました。



今回はメラティさん(インドネシア・女性)、ムクさん(ネパール・女性)、サントウンウーさん(ミャンマー・男性)の3名が出身村の様子や文化の違い、約10カ月の研修で学んだこと(保健衛生、有機農業、協同組合、洋裁など)について日本語で発表しました。高校生は日本の生活・文化との違いに驚き、熱心に聞き入っていました。

発表後はグループに分かれ、研修の報告を受けて様々な質問がなされ、高校生と研修生がお互いに学び合いながら交流することができました。

ICR 佐藤万由美

タラント No.11

総主事 岡 成也

食べて元気に

生活習慣に関するアンケートをYMCA学院で行ったところ、朝食を40%、夕食を14%の学生が抜いていました。朝食を抜く理由は、「空腹感がない」、「睡眠優先」、「ダイエット」、「準備が面倒」等と食事の優先順位が非常に低いことに驚かされます。また、朝食をとる中でも家族で朝食をとっている学生は、26%しかいません。

詩編128編に「食卓を囲む子らは、オリーブの若木。見よ、主を畏れる人はこのように祝福される」と書かれています。けっして贅沢ではなくとも、親の愛情がたっぷり注がれた食事を感謝して口にすると、幼子たちの姿が想像できます。豊かな「食育」で育った子どもは、オリーブの若木のように、神様の祝福と恵を受けて成長し、将来、すばらしい果実を実らせる。「食」と「食卓を囲む家族」の大切さを、聖書は教えてくれています。イエス・キリストは、「孤食」の淋しさ、苦しさを背負っている人と、努めて一緒に食事をし、慰め、励ました。

今年は食育基本法が制定されて10年の節目を迎えます。食材の海外依存、伝統ある食文化の喪失、格差社会、貧困などが危惧される中、食生活の改善、生産者と消費者との交流、食文化の継承などの取り組みが行われています。しかしながら、私たちの学生のアンケートが示すようにとても健全な食生活といえない現実があります。

子どもの頃から様々な食育活動を通して、美味しく、楽しく食べること、そして食べ物を大切にすることを育むことが大切です。YMCAは、食生活の改善や適度な運動を含めた総合的なとらえ方を行うウェルネスを推進しています。子どもから大人・高齢者までYMCAを通して生き生きとしたウェルネスライフを送っていただきたいと思ひます。

お年玉付年賀はがき切手シートでボランティア

熊本ワイズメンズクラブでは、お年玉付年賀はがきで当選した記念切手シートを集めています。切手シートは換金し、視覚障がい児プログラムのポニーキャンプなど社会福祉事業の活動資金に充てられます。お手元に届いた年賀はがきで切手シートが当選してありましたら、最寄りの郵便局で切手シートに交換していただきご寄贈ください。

お問合せ/熊本ワイズメンズクラブ(担当藤川) TEL096-353-6391

YMCA会員交流会 未来の森づくりデイキャンプ

ブルーベリーの植樹や野外料理を体験して、交流の輪を広げましょう。

日時:2015年3月15日(日)

現地集合・解散の方 10:00集合

送迎バス(中央YMCA出発)利用の方 8:30集合

場所:阿蘇YMCA

内容:①飯ごう炊さん・ピザづくり ②植樹(①と②どちらかを選択)

対象:YMCA会員とご家族

参加費:大人1,500円、学生・子ども1,000円

(バス利用の場合、別途一人500円)

お問合せ/熊本YMCA ICR TEL 096-353-6397 FAX 096-324-7877 E-mail icr@kumamoto-ymca.org

訂正とお詫び 本誌vol.512のTOPICSにおきまして、YMCA学院生が出場しました九州ブロック専門学校体育大会報告に誤りがありました。女子バドミントンの結果は正しくは3位入賞です。読者および関係各位にお詫びいたします。

TOPICS 地域YMCAにまつわる人・モノ・場所などを順番にご紹介します。

熱帯魚たち

東 部



東部YMCAの特色のひとつは、熱帯魚の水槽があるということです。15年以上前から水槽を設置し、現在アロワナなどの少し大きめの魚が5匹とネオンテトラが数匹います。長年にわたり学生や職員、地域の子どもの目を楽しませてくれています。その魚たちをお世話しているのは、職員の小嶋清志さんと北亜希子さんです。水温管理や餌やりなど愛情をもって接している様子は心温まるものがあります。皆さんも魚たちに心癒されるために東部YMCAへおいでください。魚たちが待っています。 東部YMCA 日野充裕

食生活改善推進員の皆さん

水前寺



1月14日(水)、出水南校区の食生活改善推進員や保護者の皆さんと一緒に、昨年、年長組が作った味噌や、熊本の食材を使って、おいしい豚汁を作りました。推進員の皆さんを中心に、寒い中、園庭で大鍋一杯に煮込んでくださる豚汁は香りも味も格別で、2回、3回とおかわりをして、園児も満足そうに食べていました。また、調理をする間、おいしく料理する方法を、若い世代である保護者の皆さんにも丁寧に伝えていただき、世代を超えた交流の場にもなっています。 水前寺幼稚園 井上和美

益城ルネサンス熊本

ながみね



ながみねファミリー YMCAが様々な形で応援している「益城ルネサンス熊本フットボールクラブ」が『プレナスチャレンジリーグ』に昇格しました。これから熊本、九州の女子サッカーを代表して全国の強豪と対戦します。選手の皆さんは、ながみね祭やサッカーフェスティバルなどYMCAのボランティア活動にも積極的に関わっていただき、子どもたちにいつも大人気です。次は日本女子サッカーのトップリーグ『なでしこリーグ』を目指しています。応援よろしくお祈りします。 ながみねファミリー YMCA 中村賢次郎

Kumamoto YMCA Network

- |               |               |              |               |
|---------------|---------------|--------------|---------------|
| 中央YMCA        | ☎096-353-6391 | 水前寺幼稚園       | ☎096-362-4141 |
| YMCA学院        | ☎096-353-6393 | 阿蘇YMCA       | ☎0967-35-0124 |
| YMCA学院高等学校    | ☎096-353-6391 | 尾ヶ石保育園       | ☎0967-32-0213 |
| 本部事務局・ICR     | ☎096-353-6397 | 永草保育園        | ☎0967-32-0810 |
| みなみYMCA       | ☎096-378-9370 | 赤水保育園        | ☎0967-35-0024 |
| 上通YMCA        | ☎096-352-2344 | 黒川保育園        | ☎0967-34-0402 |
| 東部YMCA        | ☎096-382-6661 | 就労支援事業所ウエルビー | ☎096-312-1333 |
| ながみねファミリーYMCA | ☎096-385-0676 | リフレスおおむた     | ☎0944-58-7777 |
| むさしYMCA       | ☎096-248-6334 | 御船町スポーツセンター  | ☎096-282-4111 |



思いやり 誠実さ 責任感 尊敬心

キャラクター・ディベロップメント推進中

1月に実施したお正月文化体験交流会(3面に関連記事)では、東部YMCAに通う建築科の学生と日本語科の留学生が、かるたやもちつきなどを通して交流しました。意思の疎通をはかるのがなかなか難しいこともあったようですが、お互いが相手のことを大切に思い(Respect)、気遣い(Caring)、楽しい交流会となったようです。これを機に、日常の学校生活においても声を掛け合い、これまで以上に協力し合ってほしいと願っています。(東部YMCA 守田愛沙)



【基本聖句】あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい(ペトロの手紙14章10節)

熊本YMCAの使命

- 共に生きる社会 ウェルネス活動
- 地球環境の保全 ボランティア活動
- 生涯学習の推進 平和な世界

ホームページ www.kumamoto-ymca.or.jp

メールマガジン登録 www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi

